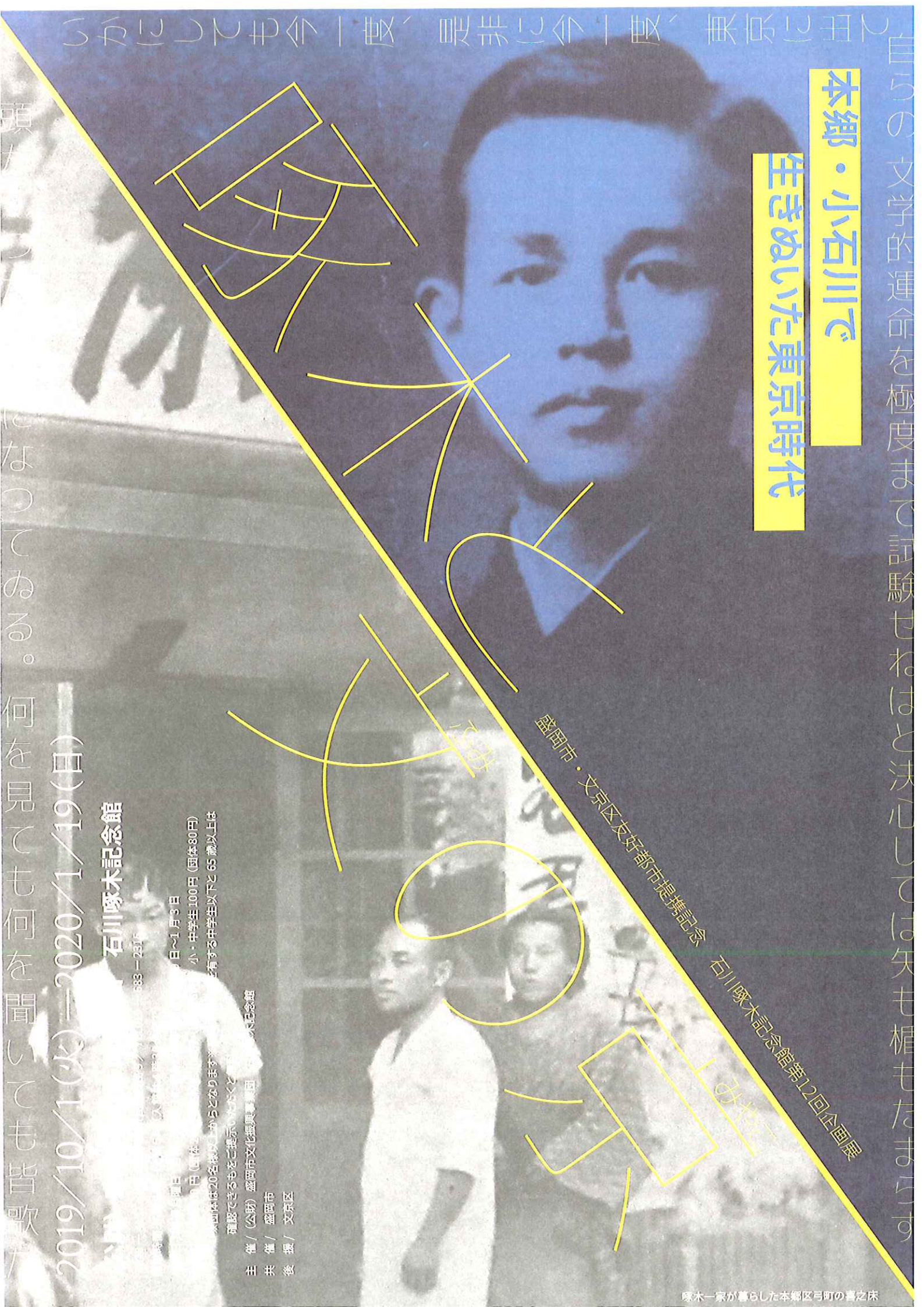




本郷・小石川で

生きぬいた東京時代

盛岡市・文京区友好都市提携記念
石川啄木記念館第12回企画展

石川啄木記念館

TEL 019-231-5883

開館日

小・中学生 100円 (団体80円)

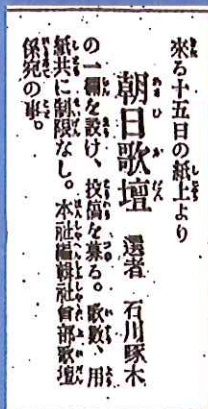
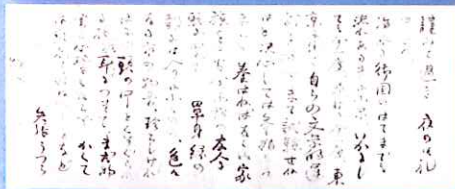
65歳以上は

確認できるものを提示いただく

主催 / (公財) 盛岡市文化振興事業団

共催 / 盛岡市

後援 / 文京区



啄木と 文の京

盛岡市・文京区友好都市提携記念
石川啄木記念館第12回企画展

本郷・小石川で 生きぬいた東京時代

石川啄木（1886～1912）が晩年を過ごした東京の本郷区と小石川区（現在の文京区）。小石川区久堅町は啄木終焉の地として知られています。

金田一京助との下宿生活、小説の創作活動、森鷗外主宰の観潮楼歌会での交流、啄木一家の生活を支えた東京朝日新聞社への就職、「大逆事件」からの影響、歌集『一握の砂』の発行、妻節子の家出や自身の病氣など、明治41年5月から明治45年4月に亡くなるまでの波乱に満ちた啄木の東京時代を紹介します。

1. 石川啄木書簡森鷗外宛（明治41年5月7日付）
2. 石川啄木書簡高田紅果・藤田武治宛（明治44年8月15日付）
3. 「朝日歌壇」投稿募集広告（明治43年9月8日『東京朝日新聞』）
4. 歌集『一握の砂』（明治43年12月1日発行）
5. 啄木終焉の地となった小石川区久堅町
6. 歌集『一握の砂』が生み出された喜之床（本郷区弓町）



平成31年2月20日、啄木生誕の日
に盛岡市と文京区は友好都市提携
を結びました。

原敬記念館
第62回企画展「家族の肖像―原敬と浅、貫―」
令和元年10月19日（土）～令和2年1月13日（月・祝）

盛岡市先人記念館
第62回企画展「金田一京助―盛岡市と文京区を中心に―」
令和元年9月28日（土）～12月1日（日）

第60回「郵便の歴史―前島密没後100年記念―」
令和元年10月15日（火）～令和2年2月3日（月）

◎（公財）盛岡市文化振興事業団からのお知らせ
盛岡てがみ館

※申込不要、直接会場にお越しください。（要入館料）

●企画展関連講演会
「啄木が暮らした文京区」
講師 佐々木 裕貴子（石川啄木記念館主任学芸員）
日時 令和元年10月20日（日）午後1時30分～3時
会場 一浪民公民館2階大会議室
参加費 無料
定員 50人

●ギャラリーートーク
（館長または学芸員による展示解説）
日時 令和元年10月1日（火）、10月27日（日）、
11月24日（日）、12月21日（土）
各日とも午後2時～2時30分
会場 石川啄木記念館 展示室
※申込不要、直接会場にお越しください。（要入館料）

交通のご案内

◎マイカーで

〈東北自動車道〉

- ・滝沢インターチェンジから …… 10分
- ・西根インターチェンジから …… 15分

◎電車で

〈IGRいわて銀河鉄道（TEL：019-626-9151）〉

- | | |
|---------|-----|
| 盛岡駅～浜民駅 | 20分 |
| （浜民駅から） | |
| 徒歩 | 30分 |
| タクシー | 5分 |
| レンタサイクル | 10分 |

◎路線バスで（盛岡駅から）

〈岩手県北バス（TEL：019-641-1212）〉

- | | |
|--------------------------|-----|
| 盛岡～沼宮内営業所行きで… | 40分 |
| （啄木記念館前停留所下車） | |
| 〈JRバス（TEL：019-624-4474）〉 | |
| 盛岡～白樺号久慈駅行きで… | 30分 |
| （啄木記念館前停留所下車） | |



（公財）盛岡市文化振興事業団

石川啄木記念館

〒028-4132 岩手県盛岡市浜民字浜民9
TEL：019-683-2315 FAX：019-683-3119